

第 13 回大阪府看護学会実施要綱



1. 開催概要

テーマ： 看護の力で笑顔をつなGO！

開催形式： 会場開催+Web開催 ※ライブ配信なし

開催日： 2025年12月6日(土) 9:30~16:00(予定)

会場： 大阪府看護協会 ナーシングアート大阪

演題募集期間： 2025年6月2日(月)10時 ~ 7月18日(金)15時

参加登録期間： 2025年9月1日(月)10時 ~ 11月28日(金)15時
※Web参加は12月23日(火)15時まで

参加費(税込)： 会員6,600円 非会員9,900円 学生無料

会場参加 (ナーシングアート大阪)

開催日： 2025年12月6日(土) 9:30~16:00

【会場プログラム】

- ・教育講演・特別講演・一般演題発表(口演・示説)・交流集会
- ・ランチョンセミナー・企業展示・大学大学院紹介・看護協会発信コーナー
- ・開会式・表彰式・閉会式 など

- ◎「会場参加」は定員600名(先着順)。事前参加登録のみ(当日参加受付なし予定)
定員になり次第、「Web参加」のみとなります
- ◎「会場参加」で申し込まれた方も、後日、オンデマンド配信を視聴することができます。
- ◎教育講演・特別講演・一般演題(口演・示説)の抄録は、12月1日(月)から閲覧可能です。

Web参加 (オンデマンド配信を視聴) ※ライブ配信無し

オンデマンド配信期間： 2025年12月15日(月) ~ 2026年1月13日(火)

【Webプログラム】

- ・特別講演・教育講演： 当日収録した講演動画を配信します
- ・一般演題発表(口演・示説)： 発表用パワーポイントデータ(PDF)を公開します
※当日収録や、音声付き動画の配信はありません
- ・看護協会発信コーナー： 動画もしくはPDFを配信します

- ◎「Web参加」は定員なし。配信期間中は何回でも視聴できます。

2. 一般演題の募集

1) 演題募集期間

2025年6月2日(月)10時～7月18日(金)15時

2) 演題登録資格

- (1) 筆頭研究者(発表者)および共同研究者は、大阪府看護協会の会員に限ります。非会員の方は、所定の入会手続きを行ってから演題登録をしてください。
- (2) 共同研究者が看護職以外の場合は、非会員でも共同研究者としての資格を有します。演題登録時に「職種」を記載してください。
- (3) 筆頭研究者および共同研究者(看護職の場合)は、2025年度大阪府看護協会の年会費を納入してください。

3) 登録・受付要件

- (1) 筆頭研究者としての応募は1人1演題です。ただし、共同研究者としての登録はこの限りではありません。
- (2) 演題は、未発表・未登録のものに限ります。(施設内発表は可)
- (3) 倫理的に配慮された研究であること。倫理的に大きな問題があると判断された場合は、受付・採択・発表を取り消す場合がありますのでご注意ください。

4) 抄録作成要領

- (1) 表題・副題
簡潔明瞭に研究内容を表すものとし、表題・副題を合わせて60字以内とします。
- (2) キーワード
3つ以上、5つ以内。
- (3) 研究者名
筆頭研究者(発表者)、共同研究者あわせて10名まで。
- (4) 所属施設名
法人名も略さず正式名称を記載してください。
- (5) 本文
 - ① 文章のみとし、全角1500字以内で作成してください。(表題、研究者名、所属施設名は含みません)
 - ② 「項目立て」は、【背景・目的】・【方法】・【倫理的配慮】・【結果】・【考察】・【結論】・【引用文献】とし、項目別に簡潔にまとめてください。※【引用文献】は必要時のみ
 - ③ 【倫理的配慮】に関しては、『研究における倫理的配慮とその記述方法』(別紙1)を熟読し、抄録を作成してください。
 - (a) 研究対象施設や対象者の特定を避けるため、次の表記に注意してください。
・「当院」「当病棟」等の記載はせず、「A病院」「A病棟」など匿名化する。
 - (b) 研究対象者の個人情報を保護してください。
・ unnecessary 個人情報を公表しないように配慮し、患者の病歴や経過などの日付表記は、特定できない表記を考慮する。
 - (c) 倫理審査委員会において研究に関する倫理審査を受け、承認を得ていることを記載してください。
(文献レビュー・システマティックレビューは除く)
※ 倫理審査委員会の表記については、個人が特定されることを避けるため実名で表せせず、「所属施設(またはA病院)の倫理審査委員会の承認を得た」と記載する。
※ 所属施設に正規の倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は、『倫理審査委員会相当の機関から承認を得た』ことを記載してください。
 - (d) 著作権等の侵害がないように配慮してください。
・ 文献から本文を引用する場合は、出典(文献)を明記する。

- ・許諾が必要な尺度を使用した場合は、使用許諾を得る。
- ・薬品や検査器具等は一般名称を用い、() 内に商品名、登録商標の場合は®を記載する。

④【引用文献】は、引用番号順に下記のように記載してください。

- <雑誌掲載論文> 著者名：表題名,雑誌名,巻(号),頁,発行年(西暦年次).
 例) 学会花子：看護研究の〇〇〇について,〇〇看護,25(11),p.35-38,2008.
 例) 学会花子,日本協子,清瀬香子,他：看護の〇〇〇研究,第〇回日本看護学会論文集(看護管理),p.5-8,20△△.
- <単行本> 著者名：書名(版),発行所,頁,発行年(西暦年次).
 例) 学会花子：看護実践研究の手引き(3),〇〇看護出版,p.145,2006.
- <翻訳書> 原著者名：書名(版),発行年,訳者名,書名(版),発行所,頁,発行年(西暦年次).
 <電子文献> 著者名：表題名,雑誌名,巻(号),頁,発行年(西暦年次),アクセス年月日, URL
 発行機関名(調査/発行年次), 表題, アクセス年月日, URL.

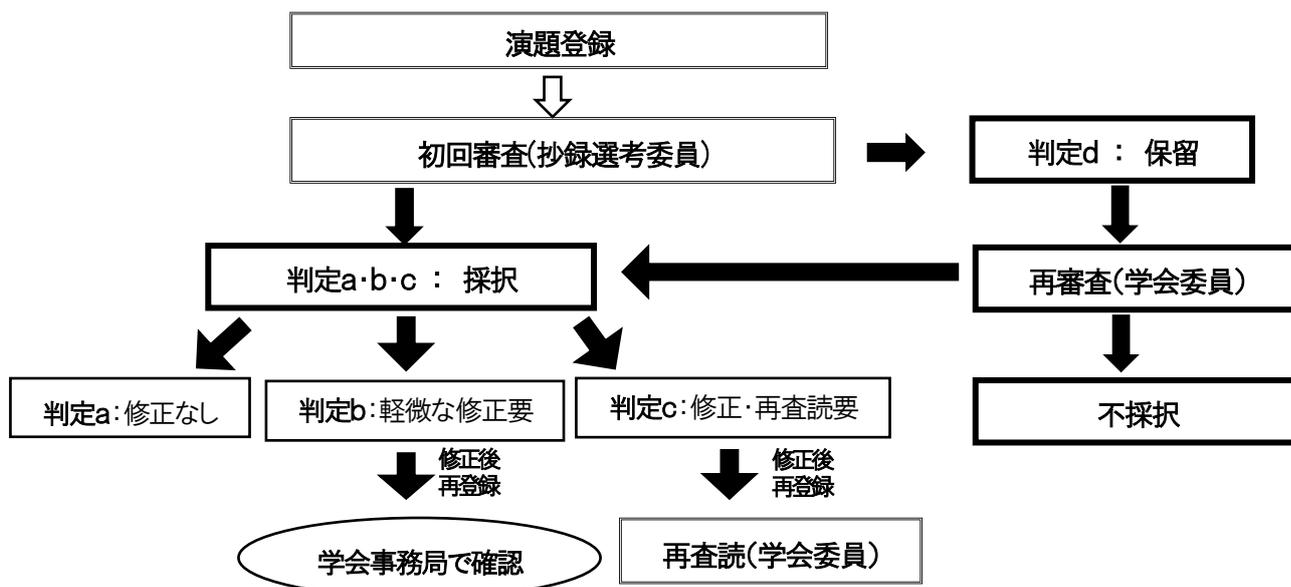
5) 演題登録方法

- (1) 大阪府看護協会のホームページ (<https://www.osaka-kangokyoikai.or.jp>) 「第13回大阪府看護学会」の **一般演題申込** より、「オンライン演題登録・管理システム」にて、**アカウントの作成** ボタンをクリック。氏名、メールアドレス、パスワードを入力し、**演題登録用の「アカウント作成」** を行ってください。
※メールアドレスが個人IDとなるため、複数名で共有しているメールアドレスや、携帯会社のキャリアメールは登録不可です。必ず個人用のメールアドレスをご登録ください。(フリーメールアドレス使用可)
- (2) アカウント作成後、登録したメールアドレス宛に、「認証用のメール」が届きます。「認証用メール」が届かない場合は、入力したメールアドレスに誤りがある可能性がありますので、ご確認ください。
- (3) 「認証用のメール」に記載されている **メールアドレスを確認** ボタンをクリックすると、演題登録用のマイページが表示されます。マイページの **新規登録** ボタンをクリックし、演題登録を行ってください。「オンライン演題登録・管理システム」の **ログイン** ボタンからも、マイページにログインすることができます。
『演題登録チェックリスト』(別紙2)の項目すべてを満たしていることを確認してから、登録してください。
- (4) 演題登録後、「演題登録番号」を記載した自動返信メールが送信されます。登録完了通知のメールが届かない場合は、迷惑メールとして受信していたり、登録が完了していない可能性があります。迷惑メールフォルダを確認、もしくはマイページ内の **登録内容の確認・修正** ボタンから、内容を確認後、再度登録を行ってください。それでも届かない場合は、運営事務局 (society-help@astem-co.co.jp) までご連絡ください。
- (5) 演題登録期間中は、登録した演題を何度でも修正することができます。マイページにログインし、**登録内容の確認・修正** ボタンより修正を行ってください。
- (6) 演題の区分は、以下より選択してください。

1. 急性期看護	2. 慢性期看護	3. 入退院支援・在宅看護	4. 小児看護
5. 母性看護	6. 老年看護	7. 精神看護	8. 感染症看護
9. 看護倫理	10. がん看護	11. 周手術期看護	12. 看護管理
13. 看護教育	14. 医療安全	15. その他	

6) 抄録選考方法

『抄録選考基準』(別紙3)に基づき、以下の流れで審査を行います。



7) 演題採否の通知

- (1) 抄録選考結果については、8月下旬頃に、演題登録システムのマイページに公開しますので各自ご確認ください。(11月上旬にマイページ画面で発表時間と会場を公開します)
- (2) 抄録修正を求められた場合は、コメントに従い修正し、指定日時までに再登録してください。

8) 発表形式・発表方法

- (1) 発表形式は、口演または示説(ポスター)となります。演題登録時に、「口演」、「示説(ポスター)」、「どちらでもよい」から、希望する発表形式を選択してください。
- (2) 発表形式は発表者の希望を優先しますが、演題数によってはプログラムの編成の都合上、変更をお願いする場合がございます。あらかじめご了承ください。最終的な決定は、学会事務局に一任願います。
- (3) 発表形式や発表群、発表データの作成方法等の詳細は、10月下旬頃にメールおよびマイページにてご案内いたします。
- (4) ①口演: 会場で口演発表を行ってください。発表時間は7分です。パワーポイントのスライドは20枚までにまとめてください。発表データは、事前にパワーポイントデータで提出していただきます。(アニメーションや動画は禁止) Web上は、提出された発表データをPDFにして公開いたします。
②示説(ポスター): 会場のパネルにポスターを掲示して発表を行ってください。発表時間は2分、その後ポスター前で待機し、質疑応答をお願いします。待機時間は約30分(予定)です。発表データは、事前にPDFにして提出していただきます。Web上はPDFデータを公開いたします。

9) 利益相反の開示

筆頭研究者(発表者)は、利益相反について報告をする必要があります。演題登録時に利益相反に関する質問についてご回答ください。なお、抄録には記載不要ですが、発表時のスライドには、利益相反状態を開示してください。

10) 優秀演題について

優れた研究を奨励し、会員の研究への意欲を高め、看護の質向上および価値ある研究活動をさらに推進するために、優れた演題に対し表彰いたします。

3. 交流集会の募集

先進的な看護実践、現場の課題解決、業務改善に向けた取り組みなど、企画者と学会参加者との情報共有、意見交換、交流を目的とし、下記の要領にて企画を募集します。

1) 企画募集期間

2025年6月2日(月)10時～8月29日(金)15時

2) 応募条件

- ・企画代表者(申込者)は、大阪府看護協会の会員に限ります。
- ・登壇者(座長・講師)が看護職の場合は、大阪府看護協会会員であること。
- ・当日の企画運営に携わる者は、企画協力者として申請すること。
- ・同一の企画代表者からの応募は1企画に限ります。
- ・企画の実施にあたり発生する経費(講師謝金・旅費含む)はご負担ください。

3) 応募方法

- (1) 大阪府看護協会のホームページ(<https://www.osaka-kangokyokai.or.jp>)「第13回大阪府看護学会」の交流集会より、申込用紙をダウンロードしてください。
- (2) 交流集会の申込用紙に、必要事項を入力の上、次の宛先に申込書を添付してメール送信してください。
申込先：大阪府看護協会(学会事務局) osakagakkai@osaka-kangokyokai.or.jp
- (3) 応募受付後5日以内に、大阪府看護協会(学会事務局)より応募受付完了のメールを送信いたします。
1週間以上経過しても、返信メールが届かない場合は、再度メールまたは大阪府看護協会(学会事務局)(直通 06-6964-5550)へご連絡をお願いいたします。

4) 運営方法

- ・交流集会は自主運営となります。1企画60分(予定)です。準備・後片付けも含めて時間内に終了するように運営をお願いいたします。
- ・一人用机(可動式)・長机・椅子・マイク・PCI台・プロジェクターが利用できます。その他必要な資材・機器につきましては、企画者側でご準備ください。
- ・会場開催のみで、オンデマンド配信はありません。

5) 採択可否について

- ・交流集会の発表枠には限りがあるため、採否の結果は企画代表者(申込者)に9月中旬頃にメールでお知らせする予定です。必ず連絡のつくメールアドレスをご登録ください。
- ・採択の場合は、企画代表者、登壇者、企画協力者は、会場参加の参加登録期間内に、参加登録および入金を完了してください。

4. 参加登録

1) 参加登録期間

申込期間	9月1日(月)10時～11月28日(金)15時 *Web参加は12月23日(火)15時まで
支払期限	会場参加 11月28日(金)15時まで Web参加 12月23日(火)15時まで

- ※「会場参加」をご希望の方は、申込フォームの「会場参加」を選択してください。定員600名になり次第、締め切ります(先着順) なお「会場参加」の方は11月28日(金)15時までに、参加登録および支払いを完了してください。事前参加登録のみ(当日参加受付なし)
- ※「抄録閲覧・動画配信サイト」は、参加登録後、運営事務局からの入金確認完了メールが届いてから視聴可能となります。入金確認メール送付までに平日は約1～2日、土日の場合は約2～3日かかりますので、ご了承ください。

2) 参加登録方法

- (1) 大阪府看護協会会員の他、非会員(他職種含む)、学生も参加登録ができます。「学生」とは看護学生とし、社会人学生の方は「会員」または「非会員」で申込みください。
- ※ 筆頭研究者(発表者)は、参加登録が必須です。
- ※ 共同研究者の方で、学会参加をされる場合は、参加登録が必要です。
- ※ 参加登録時に、2025年度の年会費の納入が確認できない場合は、「非会員」価格となります。
- (2) 大阪府看護協会のホームページ(<https://www.osaka-kangokyokai.or.jp>)「第13回大阪府看護学会」の参加登録より、「オンライン事前参加登録システム」にて、「アカウントの作成」ボタンをクリック。氏名、メールアドレス、パスワードを入力し、参加登録用の「アカウント作成」を行ってください。
- ※メールアドレスが個人IDとなるため、複数名で共有しているメールアドレスや、携帯会社のキャリアメールは登録不可です。必ず個人用のメールアドレスをご登録ください。(フリーメールアドレス使用可)
- ※演題登録をされた方は、「演題登録者はこちら」ボタンから、マイページにログインし、マイページの新規登録ボタンより参加登録を行ってください。(アカウント作成は不要)
- (3) アカウント作成後、登録したメールアドレス宛に、「認証用のメール」が届きます。「認証用メール」が届かない場合は、入力したメールアドレスに誤りがある可能性がありますので、ご確認ください。
- (4) 「認証用のメール」に記載されているメールアドレスを確認ボタンをクリックすると、参加登録用のマイページが表示されます。マイページの新規登録ボタンをクリックし、参加登録を行ってください。「オンライン事前参加登録システム」のログインボタンからもマイページにログインすることができます。
- (5) 参加方法は、「会場参加」または「Web参加」どちらかを選択してください。
- ※「会場参加」は定員(600名)になり次第、締め切らせていただきます(先着順)
- (6) 「会員」の方は、会員番号を入力してください。「非会員」の方は、会員番号欄は無記入で結構です。
- ※ 会員番号が不明な方:大阪府看護協会(直通 06-6964-5550)にお問い合わせください。
- 「学生」の方は、学生証のコピーを参加登録フォームよりアップロードしてください。
- (7) ランチョンセミナーに参加希望の方は、希望する「セミナー名」を選択してください。参加されない場合は、「参加しない」を選択してください。定員になり次第、締め切ります(先着順)
- (8) 参加登録後、「参加受付番号」を記載した自動返信メールが送信されます。登録完了通知のメールが届かない場合は、迷惑メールフォルダに入っていることがありますので、ご確認ください。

(9) 参加登録した内容を修正する場合は、マイページ内の[登録内容の確認・修正](#)より行ってください。

3) 参加費(税込)

会員	非会員	学生
6,600 円	9,900 円	無料

4) 参加費お支払方法および注意事項

クレジットカード、または、銀行振込にてお支払いください。

支払方法を銀行振込と選択された方には、追って、振込先口座をメールにてご案内いたします。

※ 必ず参加登録を行った後に、参加費を振込ください。

※ 振込は、複数名分まとめてのご入金はできません。必ず1名ずつご入金をお願いいたします。

※ 振込先口座はそれぞれ申込者ごとに異なりますので、他の申込者の振込先口座にご入金しないでください。

※ 振替手数料は参加者各自にてご負担ください。

※ ご入金後は、如何なる理由においてもキャンセルや変更、それに伴う返金ができませんのでご了承ください。

5) 抄録集について

冊子版の抄録集の送付はございません。「抄録閲覧・動画配信サイト」にてWeb抄録をご確認または抄録PDFのダウンロードをお願いいたします。抄録は12月1日(月)～閲覧・ダウンロードが可能となります。

6) 参加証明書・領収書について

「オンライン事前参加登録システム」画面より、メールアドレスとパスワードでマイページにログインすると、[参加証明書発行](#)、[参加費領収書発行](#)ボタンが表示されます。

※**参加証明書、領収書の発行は、2026年3月31日までです。**

(1) 参加証明書

12月6日(土)以降、[参加証明書発行](#)ボタンを押して表示させ、印刷してください。

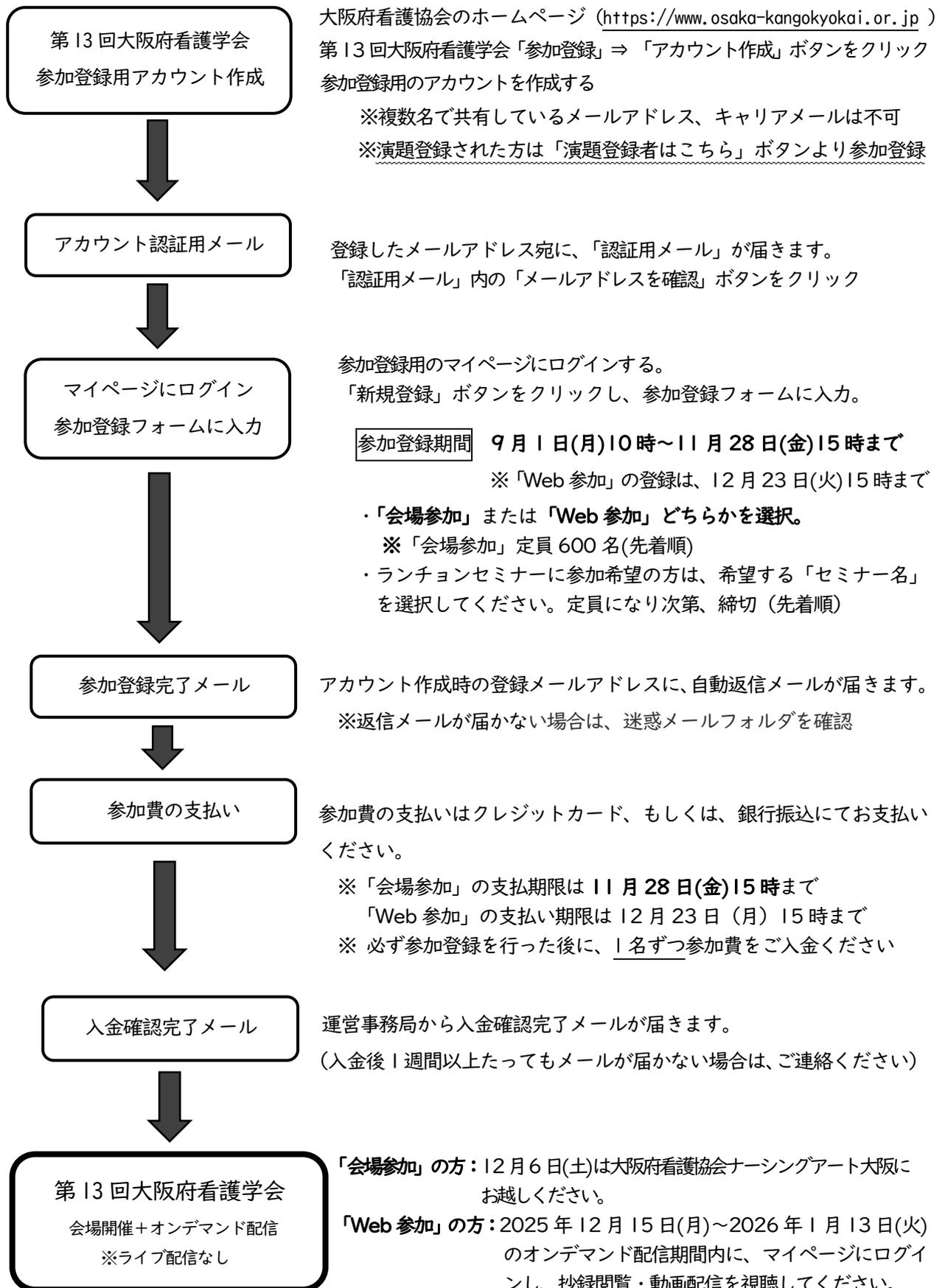
(2) 請求書および領収書

・請求書が入用の方は、[請求書発行](#)ボタンを押して表示させ、印刷してください。

・領収書は[参加費領収書発行](#)ボタンを押して表示させ、印刷してください。

※お手持ちのプリンタの設定をご確認の上、発行(表示)手続きを行ってください。

参加登録から学会参加までの流れ



抄録作成・研究発表の際に必ずお読みください!!

研究における倫理的配慮とその記述方法

1. 文献検索について

- ・研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし、発表の意義を明確にする

すでに研究結果が出ているテーマを繰り返す研究することは倫理的に問題があると考えられます。そのため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で、研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし発表の意義を明確にすることが大切です。文献検討の結果を「背景・目的」、「考察」で適切に引用しましょう。

「日本看護協会ホームページ>キャリアース」には文献データベース「最新看護索引 Web」があり、『日本看護学会論文集』（第 42 回より全文 PDF）も公開されていますので、活用してください。

2. 「当院」「当病棟」などの表記について

- ・研究フィールドや研究対象者を特定されないよう配慮する

「当院」「当病棟」等の表現やイニシャルを使った表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じです。そのため、「A病院」のように匿名化した表記とします。研究対象者へのプライバシーの配慮として、抄録の記述内容で研究対象者が特定できないようにします。固有名詞（当院・当病棟も含む）・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すためにどうしても必要な場合のみとし、掲載することで研究対象者が特定できないよう十分配慮し、掲載の承諾を得られた旨を明記する必要があります。

3. 研究対象者の個人情報保護の記載について

- ・研究対象者の個人情報は特定されない表記とし、結果に直接関係しない個人情報など、 unnecessary 個人情報は省く

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要ですが、 unnecessary 個人情報を公表しないように配慮します。例えば、入院および退院の情報が必要な時は、年月日ではなく入院期間を記載するなどの配慮が必要です。また、結果に直接関係しない個人情報は記載しません。個人情報の取扱いは、個人情報保護法、「看護者の倫理綱領」（日本看護協会、2021 年更新）、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省、2023 年一部改正）他、および所属施設の規定に従ってください。

4. 倫理委員会での承認記載について

- ・倫理委員会での承認を受けていることを明記する

研究に際しては、一般的に所属施設の倫理審査委員会の承認を得て実施することが求められています。特に、人間や動物を対象とした研究、研究対象施設の内部データを使用する等の倫理的な配慮が重要となる研究を行う場合には、倫理審査委員会等で承認を受けていることを明記してください。

倫理審査委員会の表記については、個人が特定されることを避けるため実名で表記せず、『所属施設（または A 病院）の倫理審査委員会の承認を得た』と記載してください。また、所属施設に正規の倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は、『倫理審査委員会相当の機関から承認を得た』ことを記載してください。

5. 引用文献・参考文献について

- ・著作権等の侵害がないように配慮する
- ・孫引きではなく、原点から引用する

文献から本文を引用する場合は、出典（文献）を明記します。図・表は転載許諾を得た上で出典（文献）を明記してください。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことを記載し、出典（文

献)を明記してください。尺度を改変して使用する場合は、作成者から許諾を得たことを必ず明記してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、()内に商品名と登録商標の場合は®を記載してください。論文中に先行研究として活用する文献は引用文献です。引用文献は、引用順に番号を付し、論文の最後にリストにして掲載します。また、A氏の論文の中に引用されているB氏の意見を引用したい場合は、A氏の論文の文献リストからB氏の論文を探し、B氏の文献を自分で読んでから引用してください。

参考文献は、引用していないがその論文を書くのに不可欠だった文献を意味し、論文を書く際には、引用文献のみとするとすっきりしますので、この点を心がけて論文を書いてください。

6. 利益相反の有無について

・利益相反の有無について明記する

「利益相反」とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益（得られる成果を社会へ還元する）と私的利益（個人が取得する金銭、地位、利権など）が研究者個人の中に生じる状態のことを指します。看護研究では企業から無償で提供された器材を使ったり、企業や営利団体から研究費の提供を受ける場合もあり、利益相反そのものは問題ではありません。しかし、そのような経済的な利益関係などにより、研究に弊害が生じることが問題となります。そのため、公表資料（発表資料、論文等）に利益相反の有無を記載し自己申告することにより、その研究結果の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを実証する必要があります。

【利益相反の記載方法】

- ・抄録原稿：抄録原稿への記載は不要とする
- ・発表媒体：発表媒体（スライド・ポスター）内に利益相反状態を開示する。

【記載例】

- <利益相反がある場合>本演題発表に関連して、過去1年間に△△社から研究者所属の看護部への委託研究費・奨学寄付金などの研究費、および個人的な講演謝礼を受けている。
- <利益相反がない場合>本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

個人情報の取り扱いについて

参加登録、演題登録により、当協会へ提出いただいた個人情報は、受付、各種通知、問い合わせ、意向調査等に利用します。また、抄録・参加証の校正および発行にあたり、ご登録いただいた氏名、所属施設名、連絡先を契約した制作会社に提供いたします。個人情報の第三者への提供停止等を希望される場合には、本会事務局へお問い合わせください。

著作財産権の譲渡について

大阪府看護学会抄録集に掲載された著作物（電子媒体への変換による利用も含む）の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は本研究会に譲渡されたものとします。著作者自身のこれらの権利を拘束するものではありませんが、再利用する場合には、事前に本会事務局までご連絡ください。

第 13 回大阪府看護学会 演題登録チェックリスト

*下記の 20 項目を確認し、抄録作成、演題登録をしてください。提出の必要はありません。

抄録作成時および登録時に確認する項目

		確 認 項 目	チェック欄	
登録 資格		1 筆頭研究者(発表者)および看護職の共同研究者は大阪府看護協会の会員ですか		
		2 演題は未発表・未登録の演題ですか(施設内発表は可)		
抄録 選考 時に 審査 される 内容	表題	3 表題は簡潔明瞭に研究内容を表現していますか		
	背景 目的	4 この研究により何を明らかにしようとしているかを示していますか		
		5 研究の意義を示していますか		
	方法	6 研究方法(対象・データ収集方法・分析方法)を明記していますか		
	結果	7 研究目的にそって結果を示していますか		
		8 事実を客観的に示していますか		
	考察	9 得られた結果に基づいた解釈をしていますか		
		10 研究目的にそった考察で一貫性がありますか		
	倫理的 配慮		11 研究対象施設や対象者が特定されないように配慮していますか(「A病院」「A県」など匿名化)	
			12 研究対象者の個人情報保護していますか (結果に直接関与しない個人情報など、不必要な個人情報を記載していませんか)	
		13 倫理審査委員会での承認を受けたことを記載していますか(文献レビュー・システマティックレビューは除く) ※ 倫理審査委員会の表記については、個人が特定されることを避けるため実名で表記せず、「所属施設(またはA病院)の倫理審査委員会の承認を得た」と記載していますか。 ※ 所属施設に正規の倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は、その旨を記載したうえで、「対象者から自由意思による承諾を得ていること」「不利益を回避するための配慮を実施したこと」を記載していますか		
		14 著作権の侵害がないように配慮していますか ※文献から本文を引用する場合は出典を明記していますか。許諾が必要な尺度を使用した場合は、使用許諾を得られていますか。薬品や検査器具等は一般名称を用い、()内に商品名、登録商標の場合は®を記載していますか。		
既定 の書式		15 表題・副題を合わせて 60 字以内ですか		
		16 キーワードは 3 つ以上、5 つ以内ですか		
		17 筆頭研究者(発表者)、共同研究者あわせて 10 名までですか		
		18 所属施設名(法人名も略さず正式名称)を記載していますか		
		19 「項目立て」は【背景・目的】【方法】【倫理的配慮】【結果】【考察】【結論】【引用文献】とし、項目別に、簡潔にまとめていますか。 ※【引用文献】は必要時のみ		
		20 文章のみで、1500 字以内ですか(表題・研究者名・所属施設名を含みません)		

第 13 回（2025 年度）大阪府看護学会 抄録選考基準

選考基準	項目	内容	抄録修正の必要	
			なし	あり
A	表題	1. 表題は簡潔明瞭に研究内容を表現している		
	背景目的	2. この研究により何を明らかにしようとしているかが明確である		
		3. 研究の意義が明確である		
	方法	4. 研究方法（対象・データ収集方法・分析方法）を明記している		
	結果	5. 研究目的にそった結果を示している		
		6. 事実を客観的に示している		
	考察	7. 得られた結果に基づいた解釈をしている		
		8. 研究目的にそった考察で一貫性がある		
B	倫理的配慮	9. 研究対象施設や対象者が特定されないように配慮している		
		10. 研究対象者の個人情報を保護している（結果に直接関与しない個人情報など、不必要な個人情報を記載していない）		
		11. 倫理審査委員会において研究に関する倫理審査を受け、承認を得ていることを記載している（文献レビュー・システマティックレビューを除く） ※倫理審査委員会の表記については個人が特定されることを避けるため実名で表記せず、「所属施設（または A 病院）の倫理審査委員会の承認を得た」と記載していますか。 ※所属施設に正規の倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関で承認を得た場合は、その旨を記載したうえで、「対象者から自由意思による承諾を得ていること」「不利益を回避するための配慮を実施したこと」を記載している		
		12. 著作権の侵害がないように配慮している （文献から本文を引用する場合は出典を明記している。許諾が必要な尺度を使用している場合は、使用許諾を得られている。薬品や検査器具等は一般名称を用い、（ ）内に商品名、登録商標の場合はⓂを記載している。）		

初回審査における総合判定基準

採択	選考基準 A・B すべてが適切であり、修正は不要	判定 a 修正の必要なし
	選考基準 A に「修正必要」のチェックがあり、軽微な修正のみ必要	判定 b 軽微な修正が必要 （修正し再提出。再査読なし）
	選考基準 A または選考基準 B に「修正必要」のチェックがあり、修正して再提出および再査読が必要	判定 c 修正が必要 （修正し再提出。再査読あり）
保留	選考基準 B：研究倫理に大きな問題がある	判定 d 再審査

※選考基準 B の倫理的配慮に関してチェックがある場合は判定 c または判定 d となります

運営事務局

株式会社 アステム

〒530-0044 大阪市北区東天満 2-7-12 スターポート

Mail ; society-help@astem-co.co.jp

主催 公益社団法人 大阪府看護協会